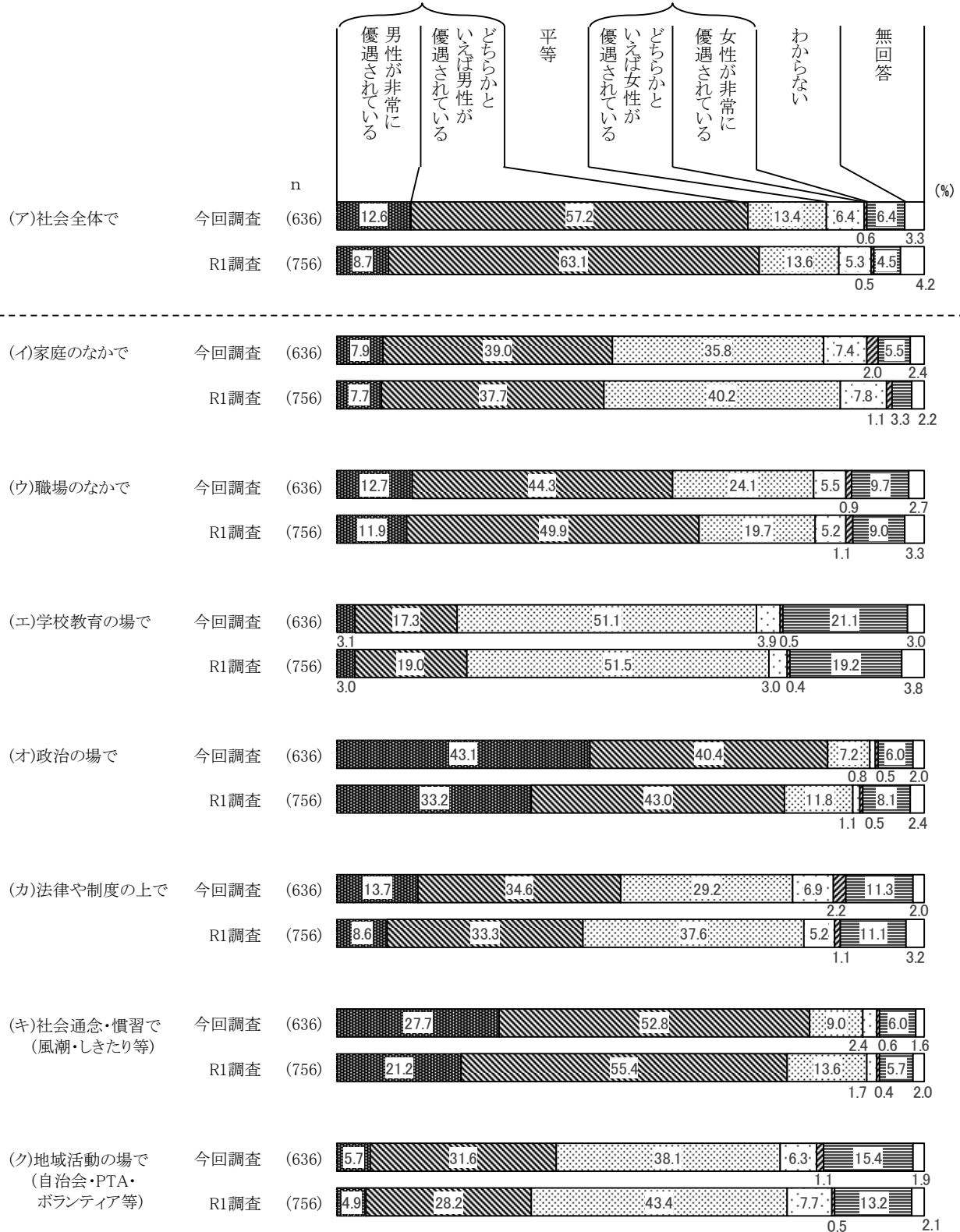


1. 男女共同参画全般について

(１) 男女平等意識

問１．あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次の（ア）～（ク）のそれぞれについてあなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。

『男性が優遇されている(計)』 『女性が優遇されている(計)』



調査の結果／1. 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

男女平等意識について、「(ア) 社会全体で」は『男性が優遇されている(計)』が69.8%、「平等」が13.4%、『女性が優遇されている(計)』が7.0%となっている。

分野別にみると、どの分野においても、『男性が優遇されている(計)』が『女性が優遇されている(計)』を上回っており、「政治の場で」と「社会通念・慣習で」は『男性が優遇されている(計)』の割合が8割を超えている。また、「平等」と答えた割合が、『男性が優遇されている(計)』と『女性が優遇されている(計)』の割合よりも高くなっているのは、「(エ) 学校教育の場で」が51.1%、「(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)」が38.1%となっている。

【前回調査(令和元年)との比較】

「平等」と答えた割合は、「(ウ) 職場の中で」以外のすべての項目で低くなっている。

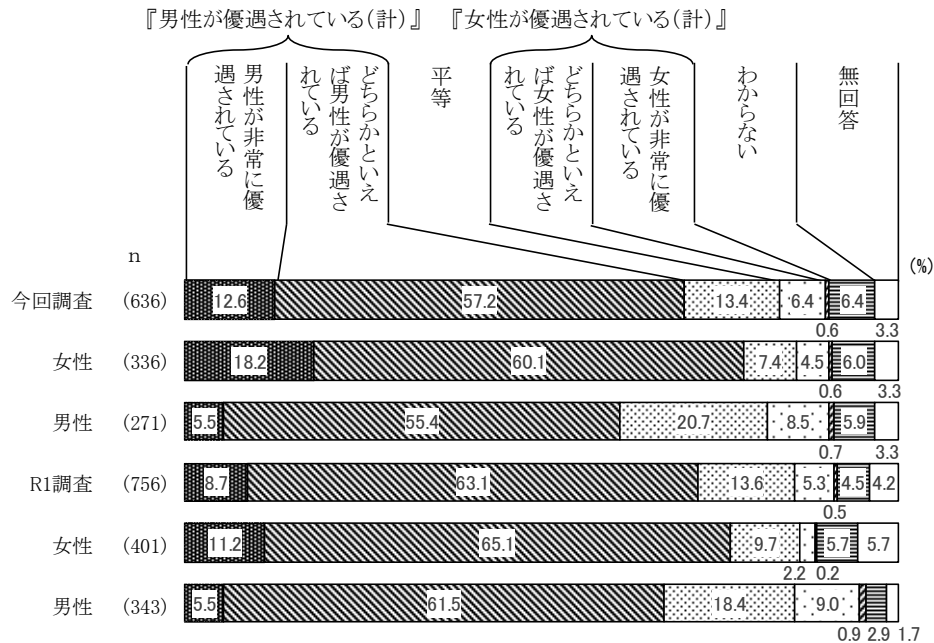
「(ウ) 職場の中で」は、「平等」と答えた割合が4.4ポイント高くなっている一方、『男性が優遇されている(計)』の割合は4.8ポイント低くなっている。

「(オ) 政治の場で」は、『男性が優遇されている(計)』の割合が前回調査よりも7.3ポイント高くなっている一方、「平等」と答えた割合は4.6ポイント低くなっている。

(ア) 社会全体で

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

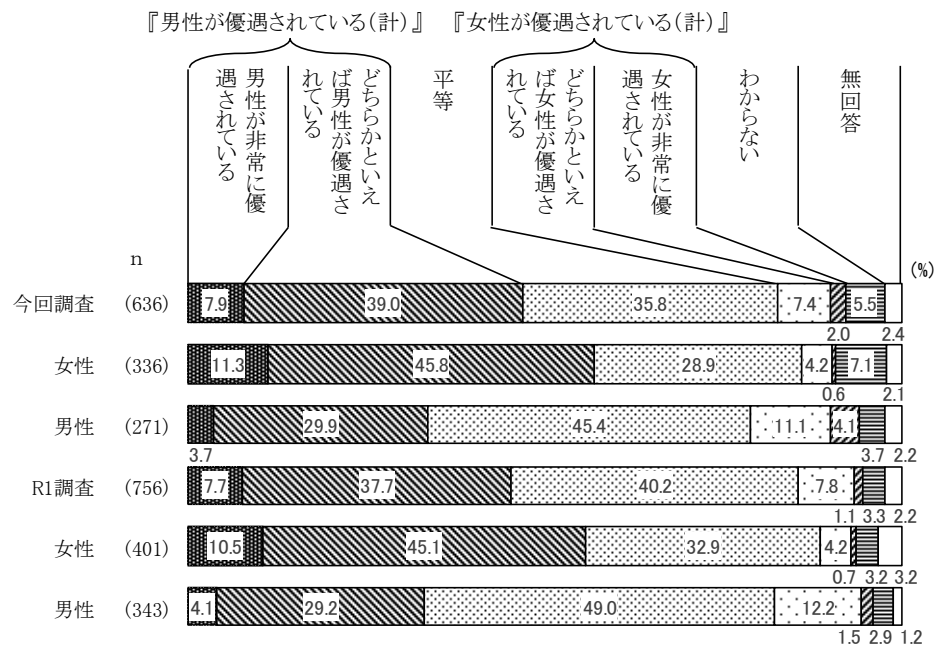
前回調査と比較すると、『男性が優遇されている（計）』の割合は、男性で6.1ポイント低くなっている一方、女性で2.0ポイント高くなっている。



(イ) 家庭のなかで

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、大きな差異はみられない。



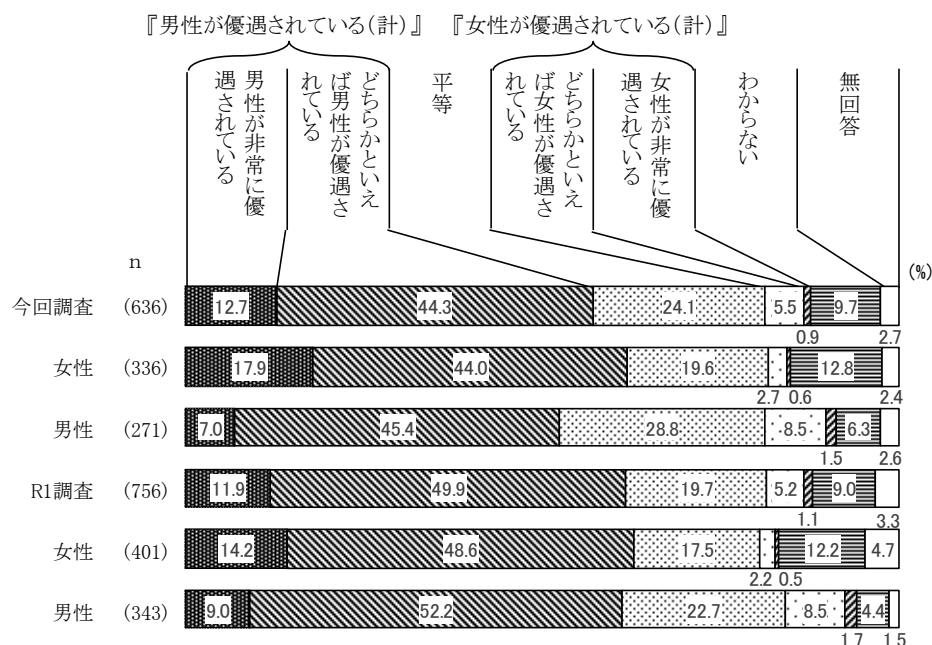
調査の結果／1. 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(ウ) 職場のなかで

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

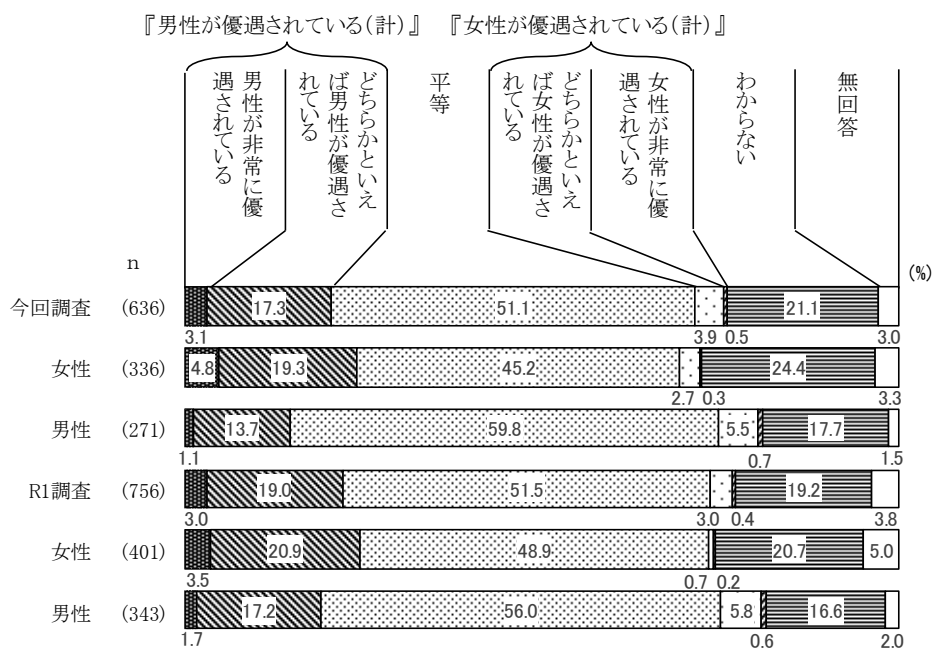
前回調査と比較すると、「平等」と答えた割合は、男性で6.1ポイント、女性で2.1ポイント、それぞれ高くなっている。また、『男性が優遇されている（計）』の割合は、男性で8.8ポイント、女性で0.9ポイント、それぞれ低くなっている。



(エ) 学校教育の場で

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

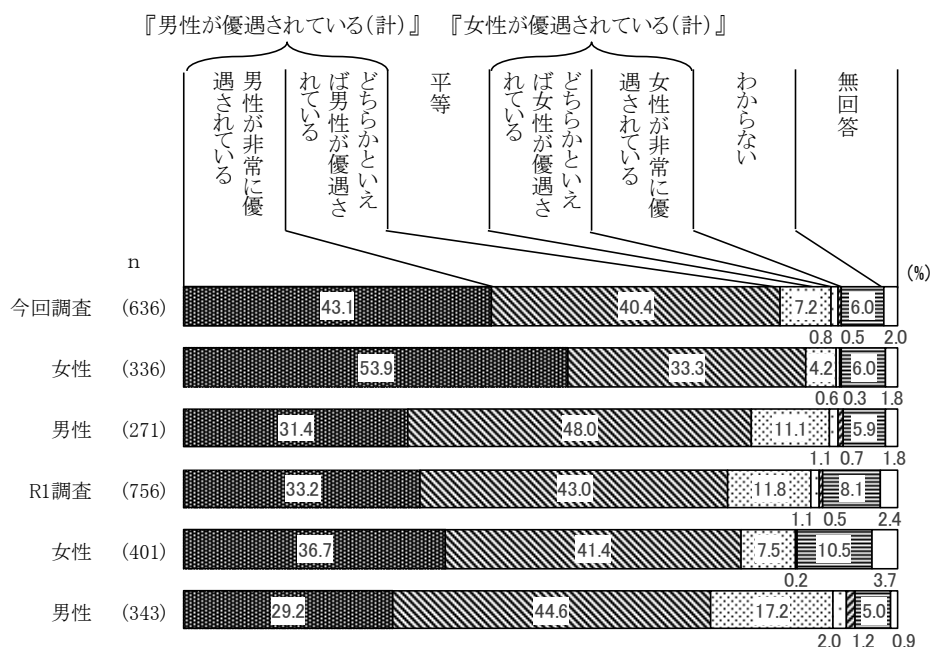
前回調査と比較すると、「平等」と答えた割合は男性で3.8ポイント高く、女性で3.7ポイント低くなっている。また、『男性が優遇されている（計）』の割合は、男性で4.1ポイント、女性で0.3ポイントそれぞれ低くなっている。



(オ) 政治の場で

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

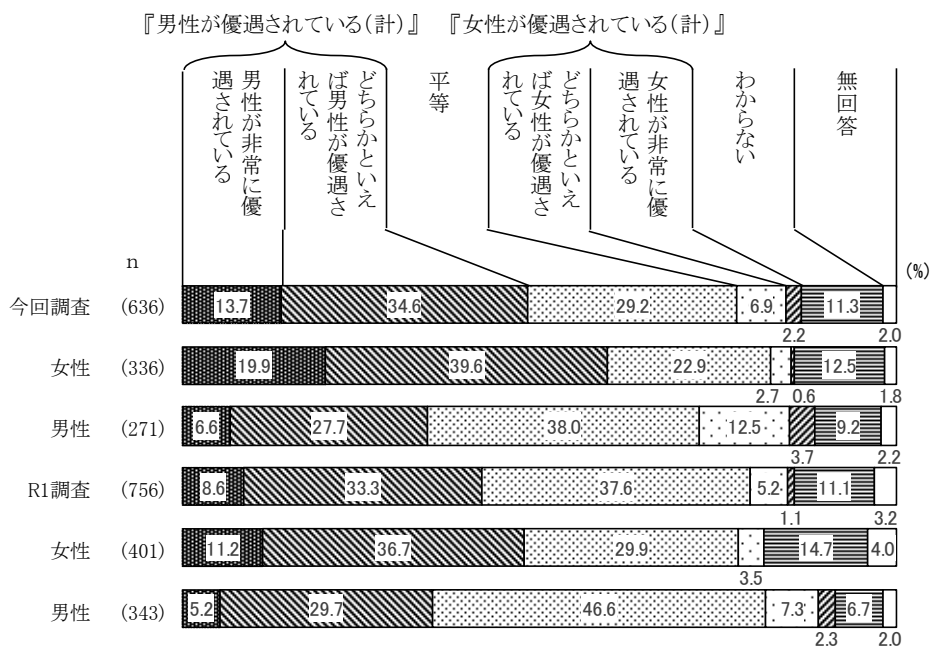
前回調査と比較すると、「平等」と答えた割合は、男性で6.1ポイント、女性で3.3ポイント、それぞれ低くなっている。一方、『男性が優遇されている（計）』の割合は女性で9.1ポイント、男性で5.6ポイント、それぞれ高くなっている。



(カ) 法律や制度の上で

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、「平等」と答えた割合は、男性で8.6ポイント、女性で7.0ポイント低くなっている。『男性が優遇されている（計）』の割合は女性で11.6ポイント高く、『女性が優遇されている（計）』の割合は、男性で6.6ポイント高くなっている。



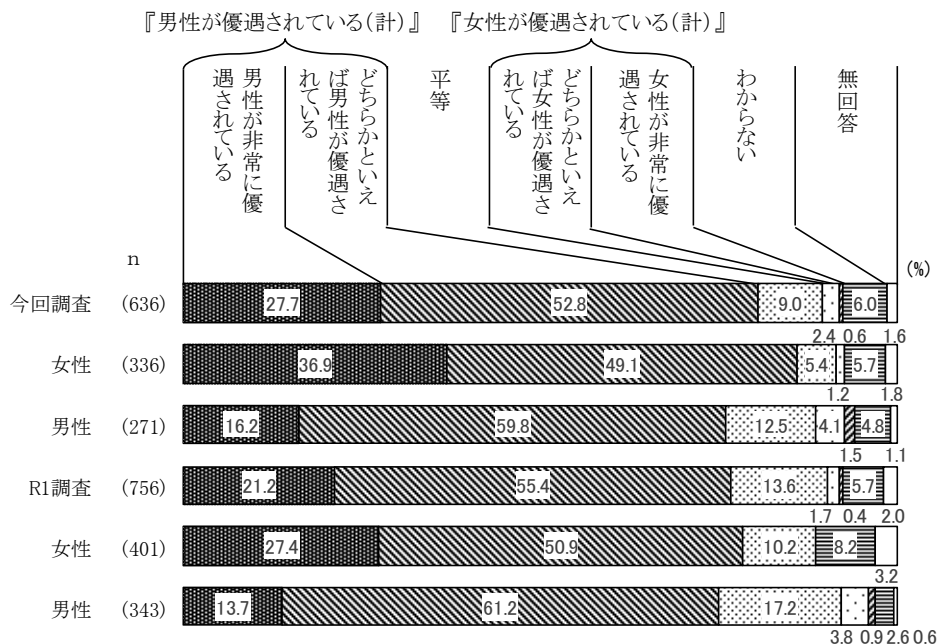
調査の結果／1. 男女共同参画全般について

(1) 男女平等意識

(キ) 社会通念・慣習で(風潮・しきたり等)

【性別・前回調査(令和元年)との比較】

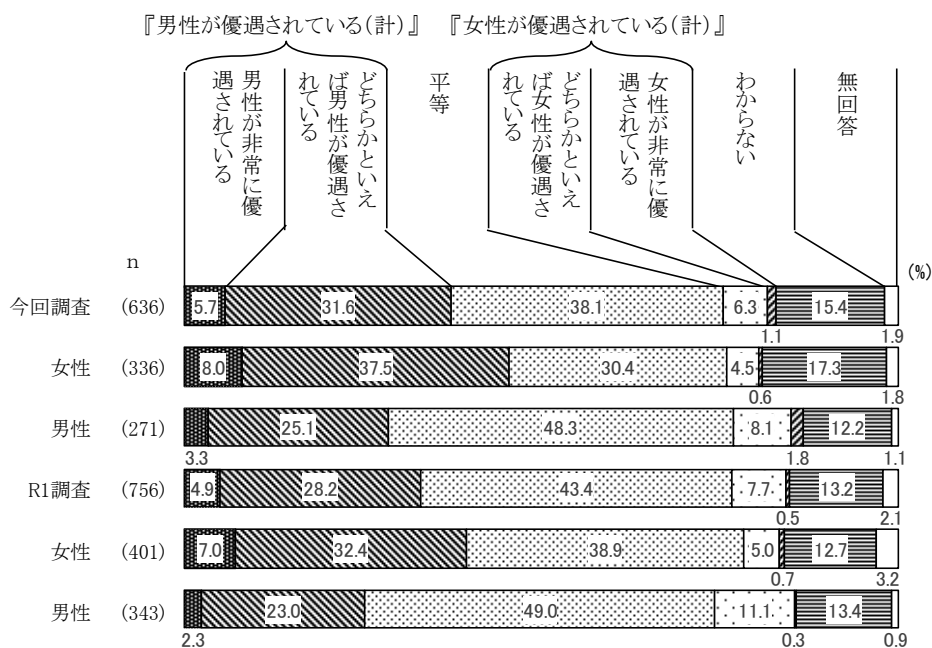
前回調査と比較すると、「平等」と答えた割合は女性が4.8ポイント、男性が4.7ポイント低くなっている。



(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)

【性別・前回調査(令和元年)との比較】

『男性が優遇されている(計)』の割合は、前回調査よりも女性で6.1ポイント高くなっている。
「平等」と答えた女性の割合は前回調査よりも8.5ポイント低くなっている。



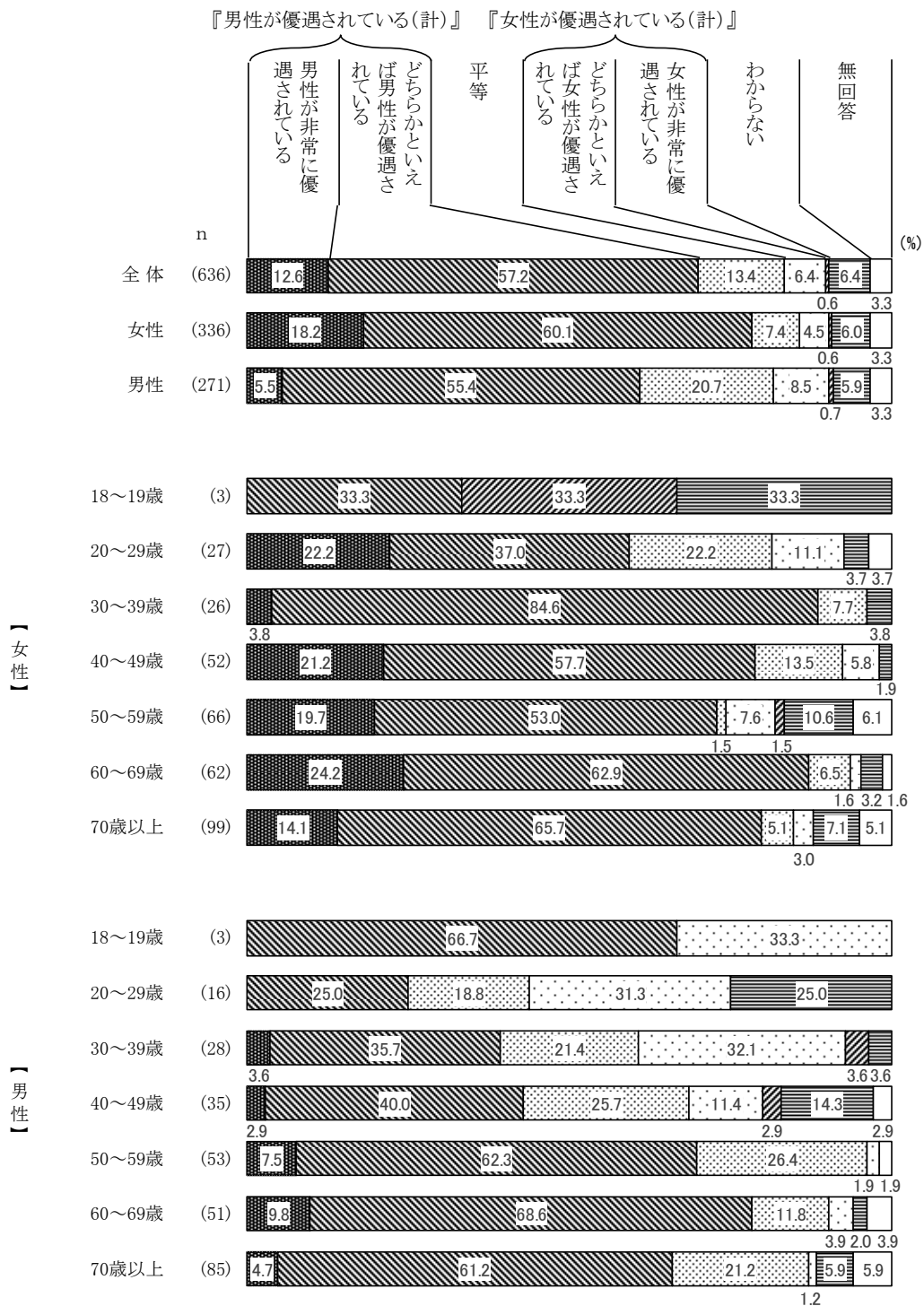
(ア) 社会全体で

【性・年齢別】

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性が男性よりも17.4ポイント高くなっている。一方、「平等」と『女性が優遇されている(計)』の割合は、男性が女性よりも13.3ポイント、4.1ポイント、それぞれ高くなっている。

「平等」と答えた割合が2割を超えているのは、女性は20～29歳、男性は30～39歳、40～49歳、50～59歳、70歳以上となっている。

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性では30～39歳以上で、男性では50～59歳以上で6割を超えている。



調査の結果／1. 男女共同参画全般について

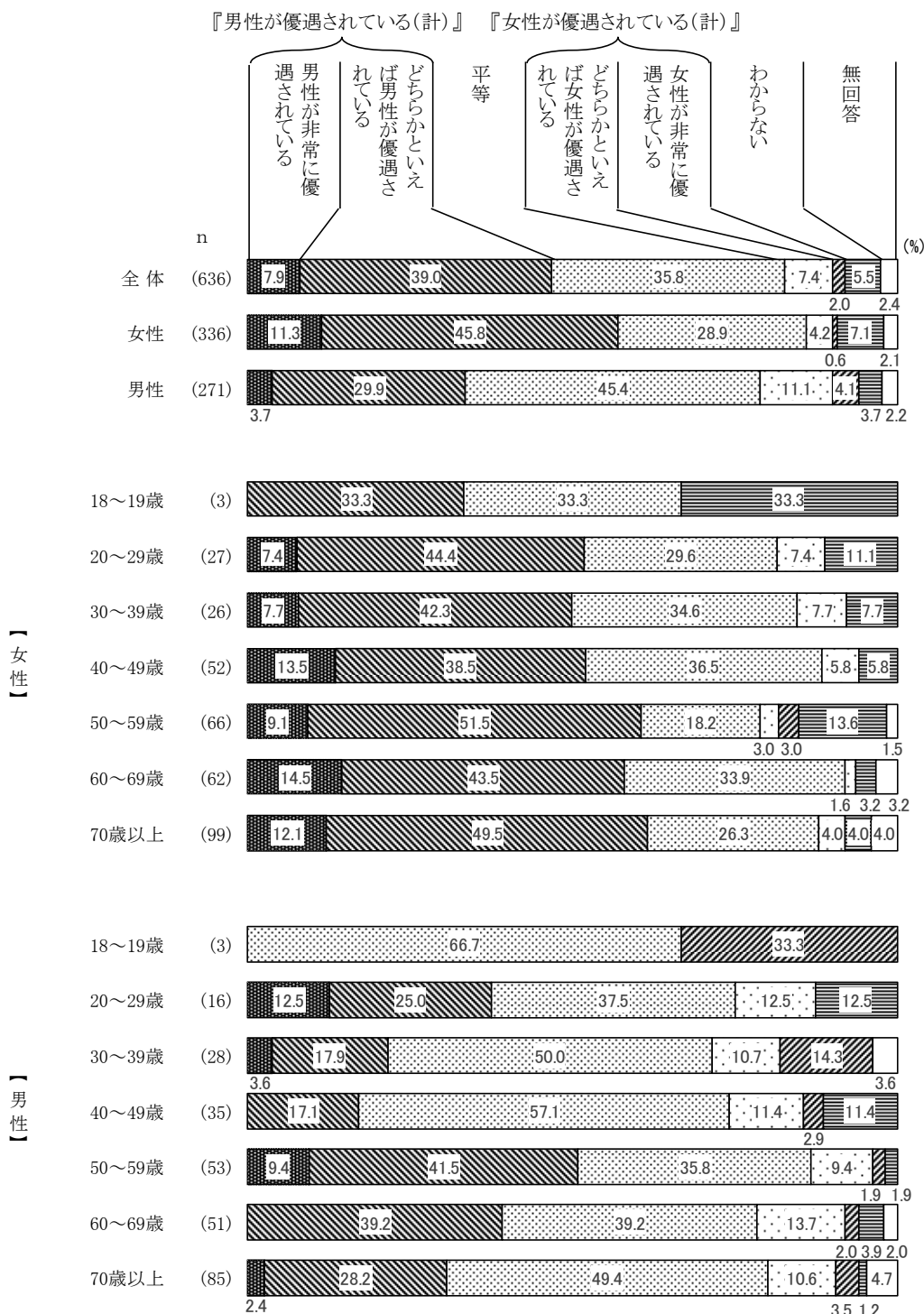
(1) 男女平等意識

(イ) 家庭のなかで

【性・年齢別】

『男性が優遇されている（計）』の割合は、女性が男性よりも23.5ポイント高くなっており、女性70歳以上、女性50～59歳で『男性が優遇されている（計）』の割合が6割を超えている。

「平等」と答えた割合は、男性30～39歳、男性40～49歳で5割以上となっている。

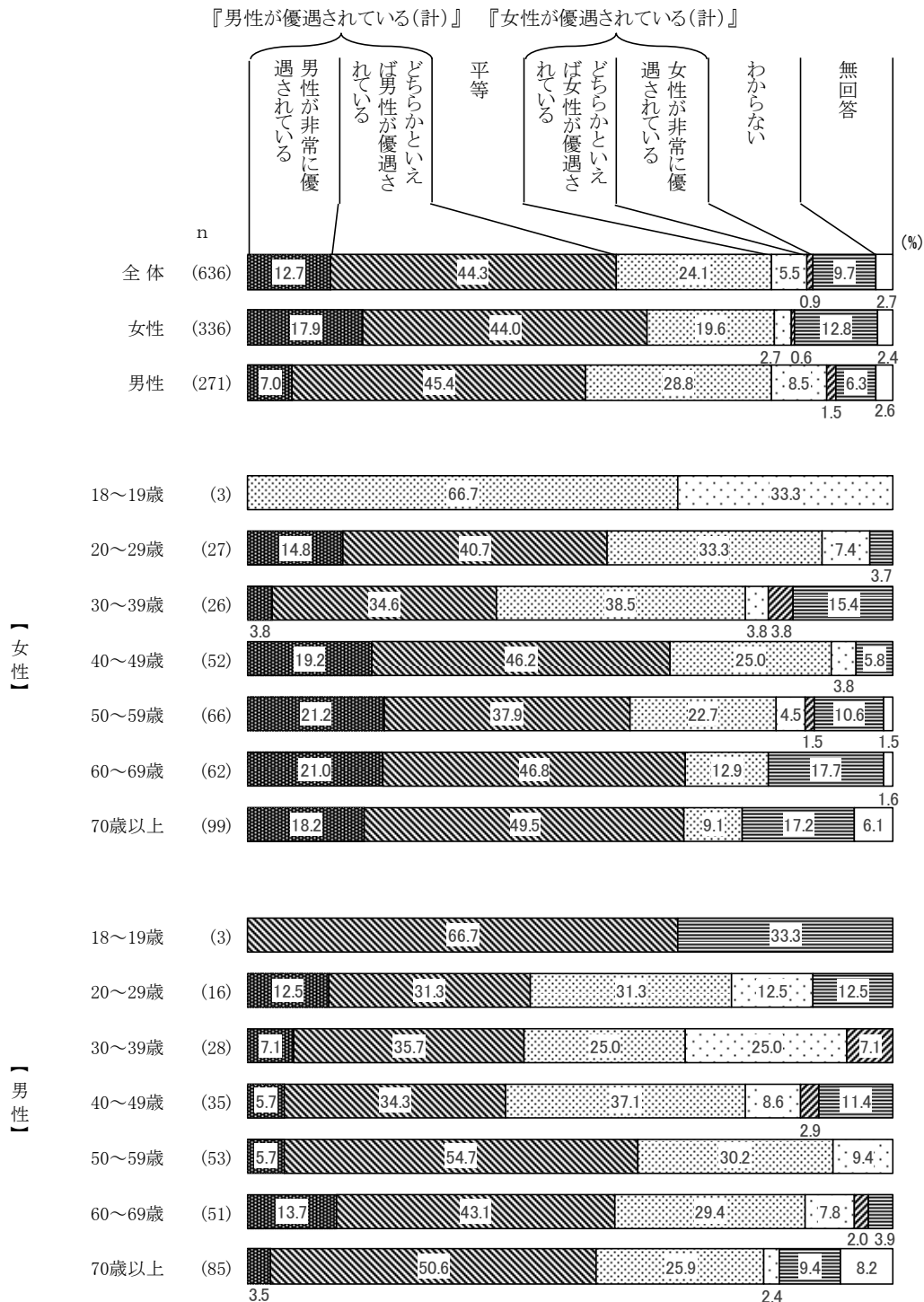


(ウ) 職場のなかで

【性・年齢別】

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性が男性よりも9.5ポイント高くなっている一方、「平等」の割合は、男性が女性よりも9.2ポイント高くなっている。

「平等」と答えた割合は、女性30～39歳(38.5%)が最も高く、男性40～49歳(37.1%)、女性20～29歳(33.3%)と続いている。



調査の結果／1. 男女共同参画全般について

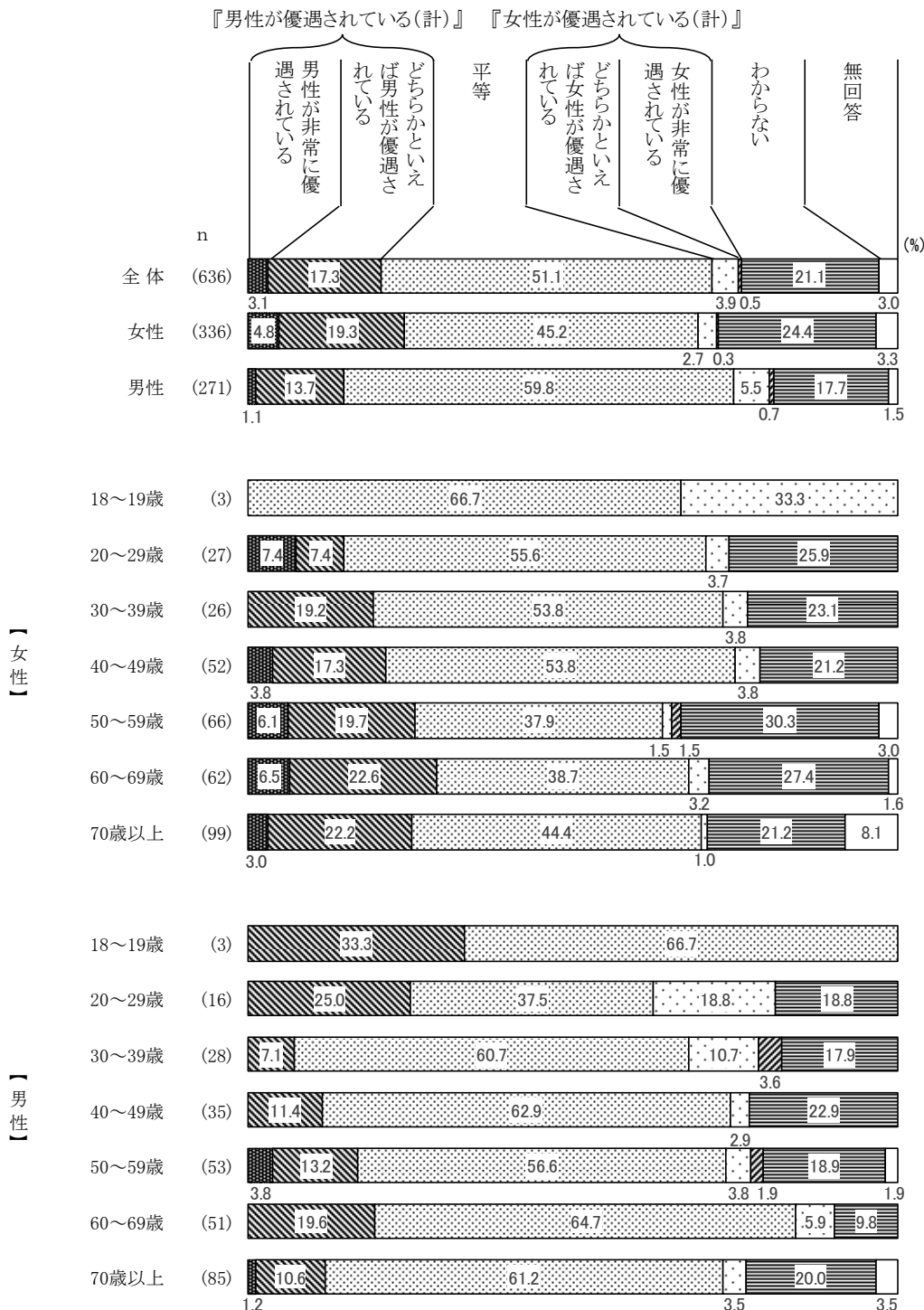
(1) 男女平等意識

(エ) 学校教育の場で

【性・年齢別】

「平等」と答えた割合は、男性が女性よりも14.6ポイント高くなっている一方、『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性が男性よりも9.3ポイント高くなっている。

「平等」と答えた割合が高いのは、男性60～69歳（64.7%）、男性40～49歳（62.9%）、男性70歳以上（61.2%）、男性30～39歳（60.7%）で6割を超えている。

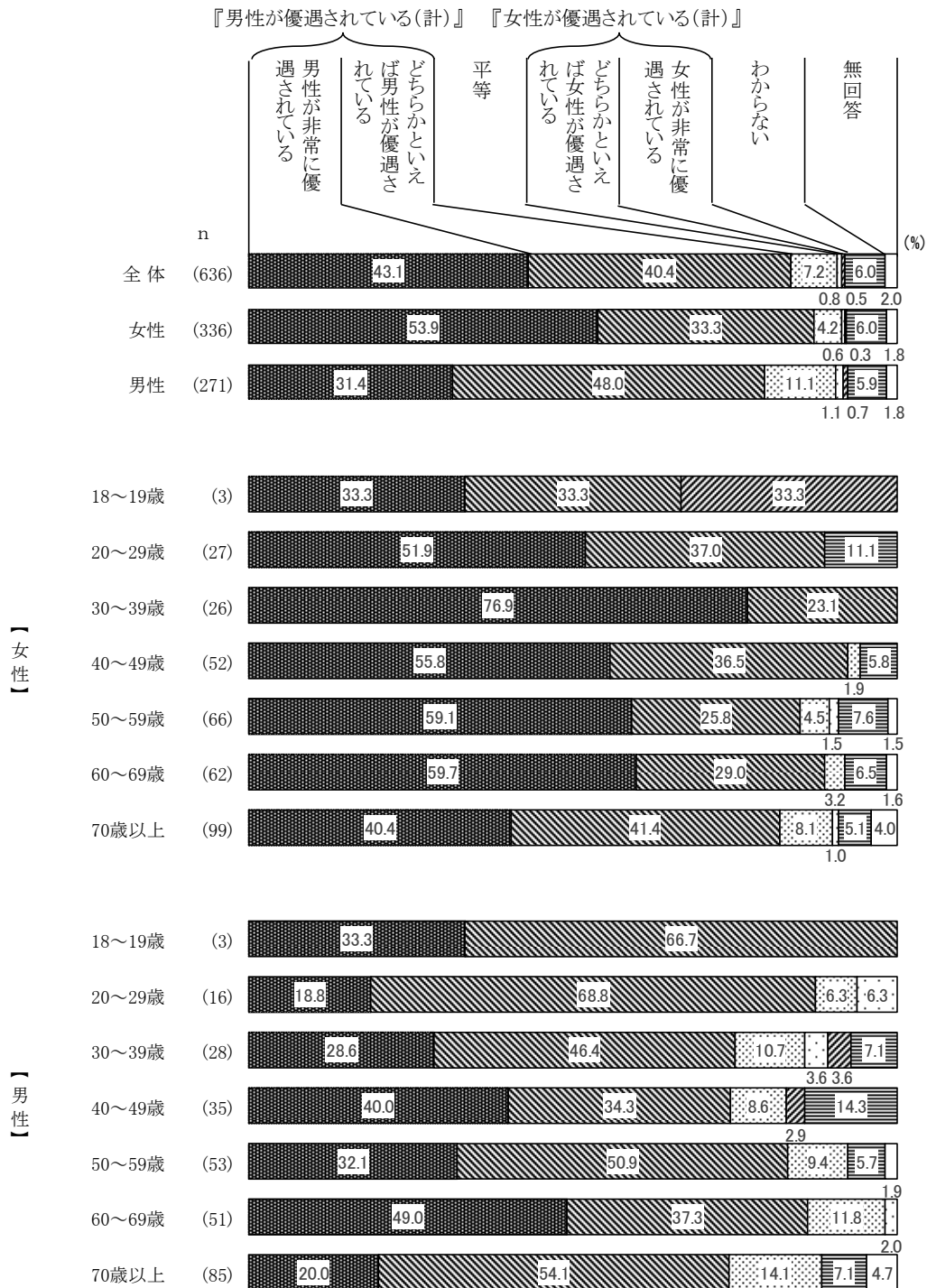


(オ) 政治の場で

【性・年齢別】

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性が87.2%、男性が79.4%でともに高くなっており、特に女性30～39歳では10割となっている。

「平等」と答えた女性の割合は、どの年代においても低く、1割に満たない。



調査の結果／1. 男女共同参画全般について

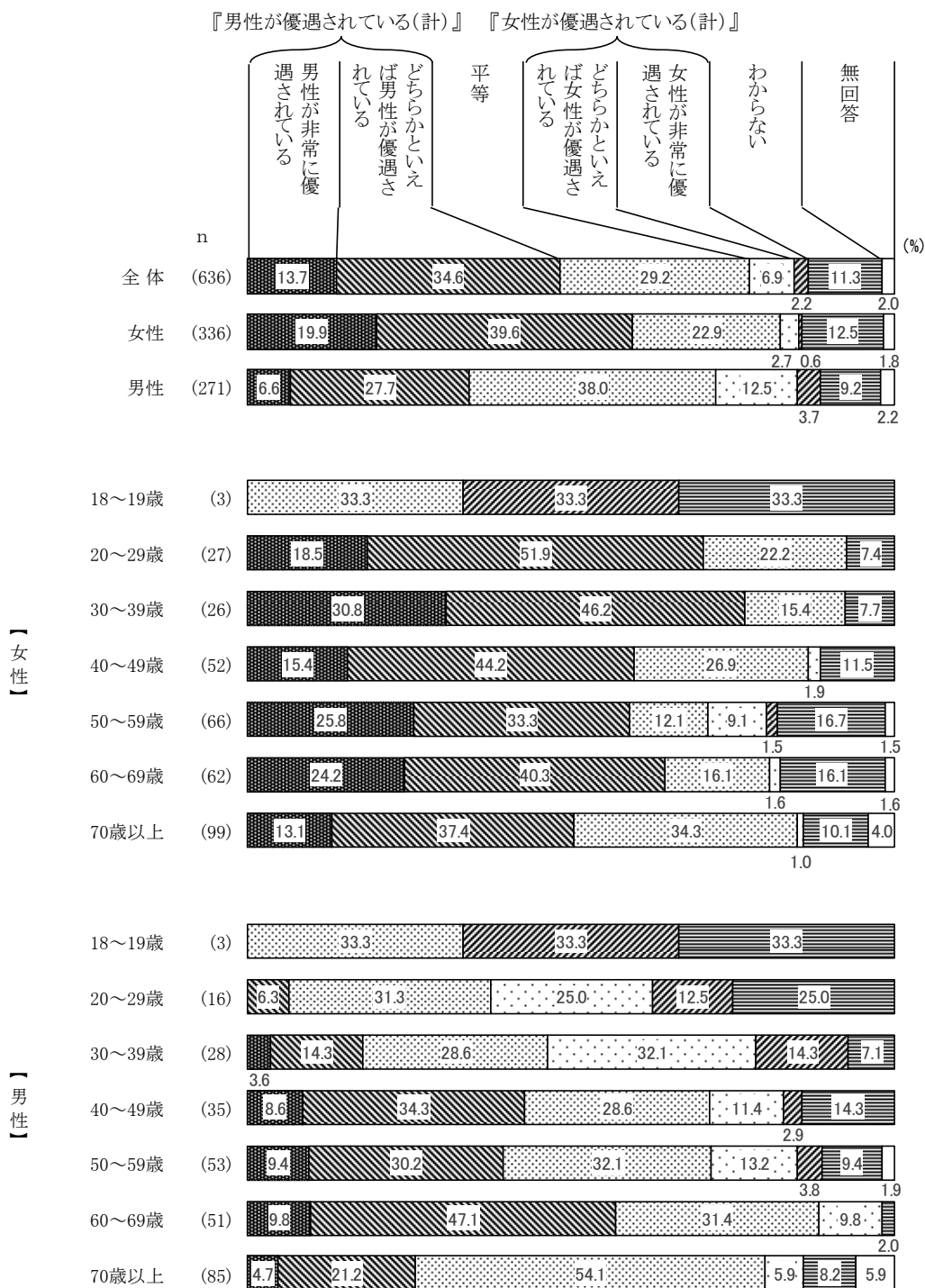
(1) 男女平等意識

(カ) 法律や制度の上で

【性・年齢別】

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性30～39歳、女性20～29歳で7割を超えて高くなっており、「平等」と答えた割合は、男性70歳以上が54.1%と最も高くなっている。

『女性が優遇されている(計)』の割合は、男性30～39歳が46.4%と最も高くなっている。

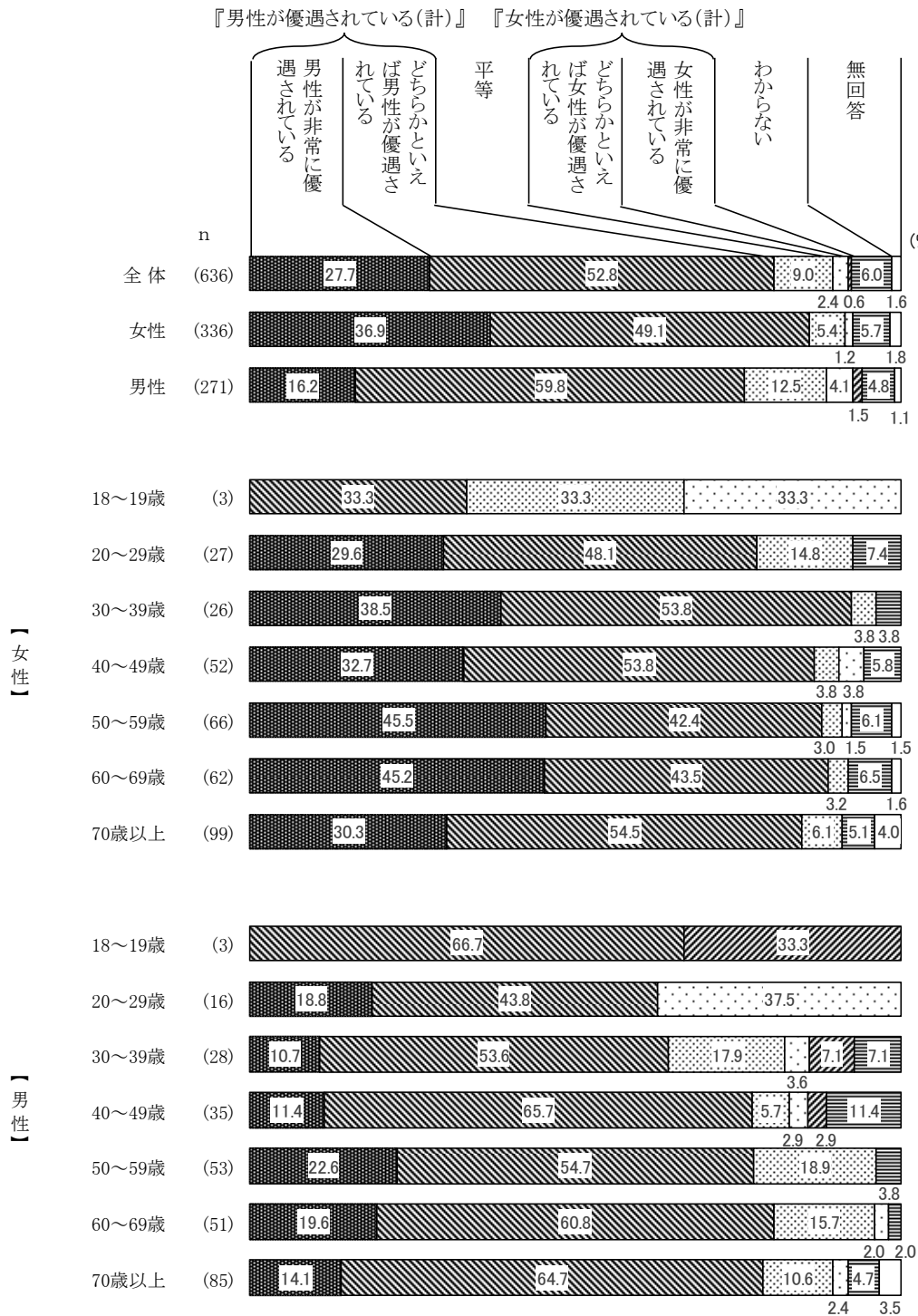


(キ) 社会通念・慣習で(風潮・しきたり等)

【性・年齢別】

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性が86.0%、男性が76.0%でともに高くなっており、女性は20～29歳を除く年代で8割を超えている。

「平等」と答えた割合が最も高いのは、男性50～59歳で2割に満たない。



調査の結果／1. 男女共同参画全般について

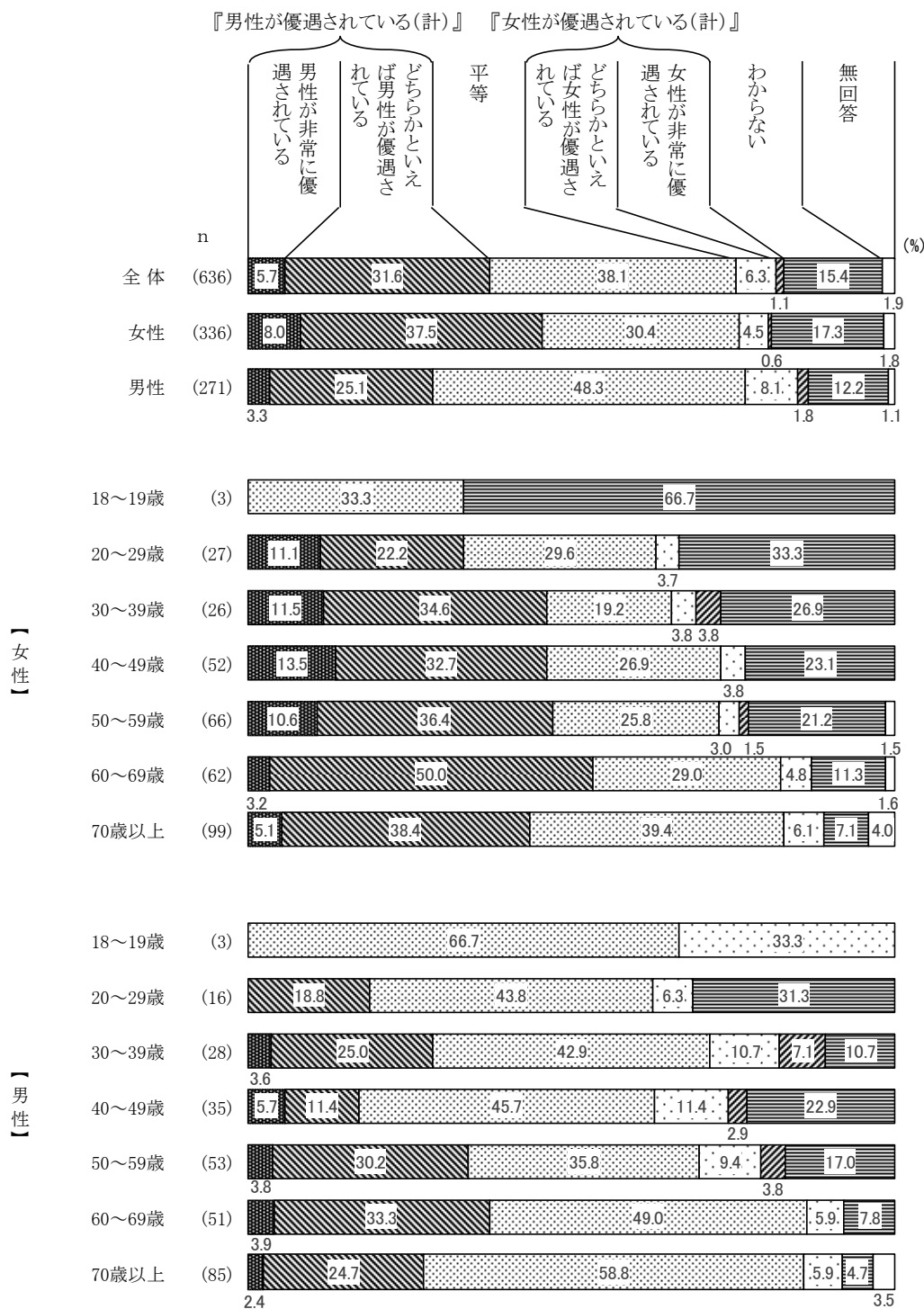
(1) 男女平等意識

(ク) 地域活動の場で(自治会・PTA・ボランティア等)

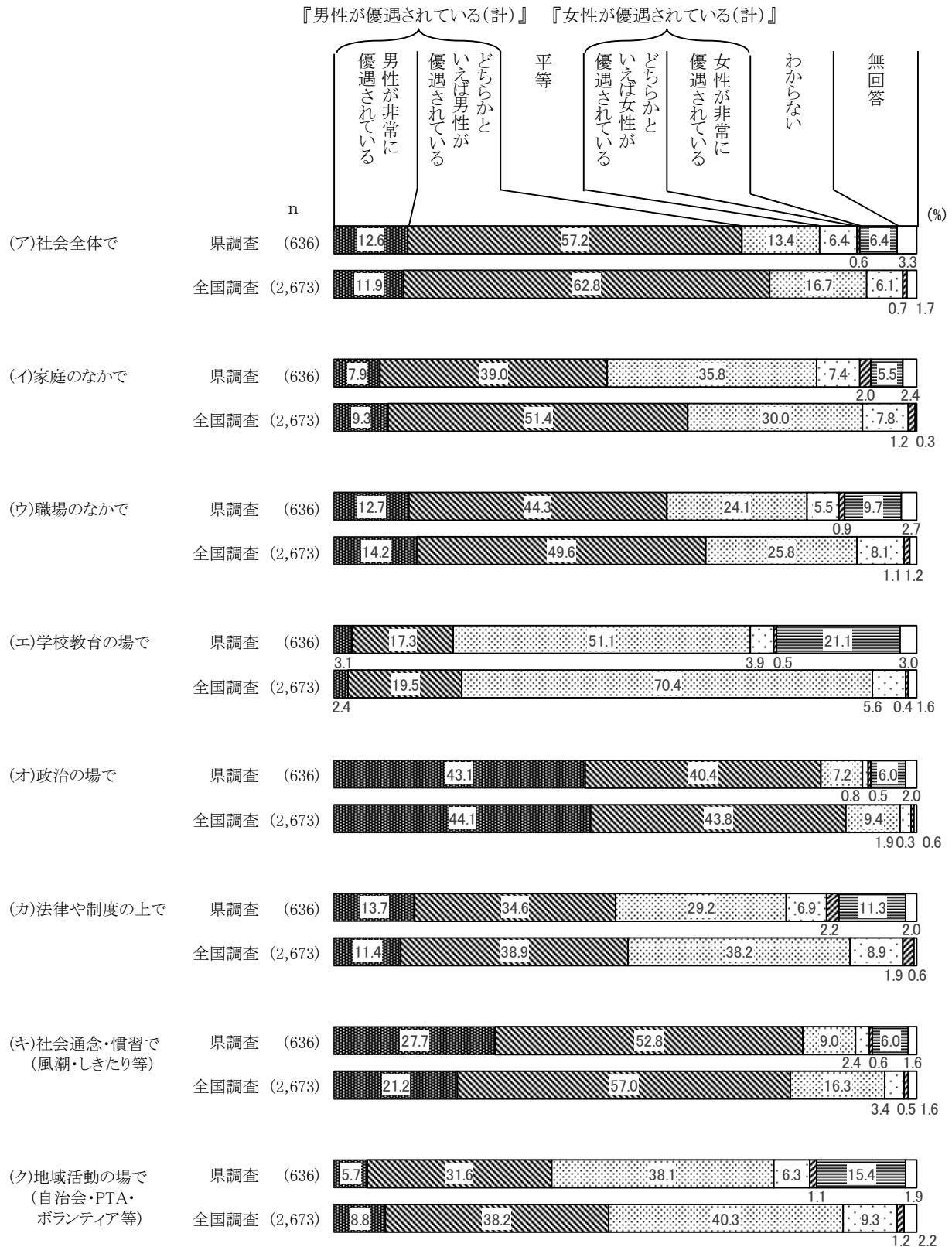
【性・年齢別】

「平等」と答えた男性は女性よりも17.9ポイント高くなっており、「平等」と答えた割合が最も高いのは、男性70歳以上で58.8%となっている。

『男性が優遇されている(計)』の割合は、女性60～69歳で53.2%と最も高くなっている。



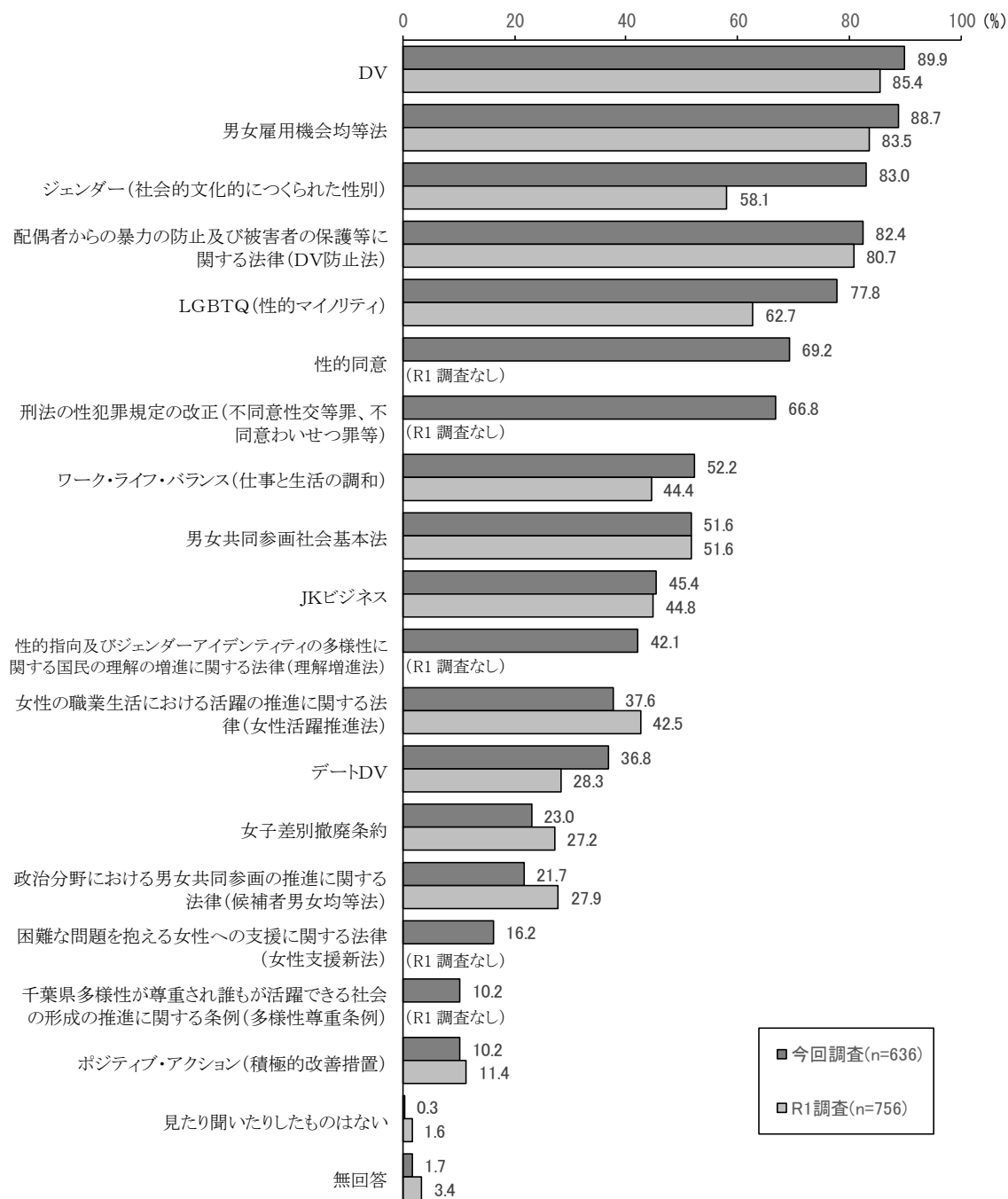
(参考) 全国調査：内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和6年9月調査）」



※全国調査では「わからない」の選択肢を設けていない。

(2) 法令等の認知度

問2. 男女共同参画に関連する法令等の認知度を把握するため、次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある番号すべてに○をつけてください。



法令や言葉の認知度の割合が高いのは、「DV」、「男女雇用機会均等法」、「ジェンダー(社会的文化的につくられた性別)」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」で8割を超えている。

【前回調査(令和元年)との比較】

前回調査と比較すると「ジェンダー(社会的文化的につくられた性別)」は24.9ポイント、「LGBTQ(性的マイノリティ)」は15.1ポイント、それぞれ高くなっている。

【性別】

性別にみると、女性が男性よりも「デートDV」で9.4ポイント、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（理解増進法）」で8.0ポイント、それぞれ高くなっている。

一方、男性が女性よりも「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律（候補者男女均等法）」で9.6ポイント、「刑法の性犯罪規定の改正（不同意性交等罪、不同意わいせつ罪等）」で8.5ポイント、「JKビジネス」で7.9ポイント、それぞれ高くなっている。

